

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史A (理系)	学年	第2学年	教科書	山川出版『世界の歴史』
		単位数	2単位	副教材	第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』

学習目標
 近現代史を中心とする世界の歴史を、わが国の歴史と関連付けながら理解させ、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

学習方法
 ●授業においては板書事項をノートに記入するとともに、補足事項を書き留めるなどノートを活用していきましょう。
 ●資料(特に図説や教科書に出てくる地図や写真)をしっかりと参照するようにしましょう。
 ●小テストや確認用プリントで知識の定着度をみながら、何度も見直しをしながら知識が確実に身に付くようにしてください。

学習評価	評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
	① 関心・意欲・態度	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
② 思考・判断・表現	課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	
③ 資料活用の技能	諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
④ 知識・理解	基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	
⑤		

評価の観点	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用の技能	④知識・理解	⑤
授業への取り組み	○				
ノートの作成	○	○			
小テスト	○	○	○	○	
定期テスト	○	◎	○	◎	
観点別比重	10%	20%	30%	40%	

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	世界の諸文明	6	西欧文化の源流	古代オリエント世界	①西欧文化の源流としての古代オリエント文明やギリシア・ローマ文明について関心をもって学習しようとしている。 ②オリエントやギリシア・ローマの文明が現代社会に与えている影響を判断し、表現している。 ③古代オリエント世界、ギリシア・ローマ世界に関する諸資料を適切に活用している。 ④古代オリエント世界、ギリシア・ローマ世界に関する知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
			ギリシア・ローマ世界			
		6	東アジア世界の形成と発展	中国の古典文明	①東アジア世界とそのなかでの日本について、意欲的に探究しようとしている。 ②古代から近世にかけての日本と中国の歴史とを関連付けて考察している。 ③教科書に掲載されている、古代から近世にかけての日本や中国の歴史に関する諸資料を適切に活用している。 ④古代から近世にかけての日本と中国の歴史に関する知識を身に付け、理解している。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				東アジア文化圏の形成と変容		
				明・清帝国と日本との関係		
		6	イスラーム世界の形成と発展	イスラームの成立	①イスラーム文明について関心をもって学習しようとしている。 ②イスラーム文明が現代社会に与えている影響を判断し、表現している。 ③教科書に掲載されているイスラーム文明に関する写真や図版を適切に活用している。 ④イスラームの特質やその形成過程について、基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				イスラーム世界の拡大と分裂		
		6	ヨーロッパ世界の形成と発展	封建社会の成立	①キリスト教を基盤とした中世ヨーロッパの歴史について関心をもって学習しようとしている。 ②中世ヨーロッパの特色とキリスト教会の果たした役割を判断し、表現している。 ③教科書に掲載されている中世ヨーロッパ世界に関する写真や図版を適切に活用している。 ④中世ヨーロッパの形成と発展について、基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				西ヨーロッパ中世世界の変容		

二 学 期	世界の一体化	7	近代ヨーロッパの成立	ルネサンス	①ヨーロッパ世界の拡大と変革について関心をもって学習しようとしている。 ②近世ヨーロッパ世界と現代資本主義社会とを関連付けて考察している。 ③ルネサンスをはじめとする近世ヨーロッパの諸資料を適切に活用している。 ④近世ヨーロッパ世界の展開について、基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				ヨーロッパ世界の拡大		
				宗教改革		
		7	ヨーロッパ主権国家体制の展開	主権国家体制の成立	①17-18世紀のヨーロッパ世界の動向について、関心をもって学習しようとしている。 ②17-18世紀の英仏を中心とした国際関係と、その後の社会への影響を判断し、表現している。 ③バロック・ロココを中心とした17-18世紀のヨーロッパ文化に関する諸資料を適切に活用している。 ④17-18世紀のヨーロッパ世界の動向について、基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				重商主義と啓蒙専制君主		
				ヨーロッパ諸国の海外進出		
		8	欧米における近代社会の成立	産業革命	①産業革命・市民革命の背景とその歴史的意義について、関心をもって学習しようとしている。 ②資本主義体制の確立と社会の変容について、現代社会の諸問題との関連を判断し、表現している。 ③「独立宣言」や「人権宣言」などの資料から、近代民主政治の基本原則に触れることができている。 ④産業革命・市民革命の背景と影響について、基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				アメリカ独立革命		
				フランス革命とナポレオン		
		6	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と同様	①ウィーン体制の特色と崩壊までの過程、社会主義思想の成立について、関心をもって学習しようとしている。 ②環大西洋革命の視点から、ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連付けて考察している。 ③教科書に掲載されているヨーロッパ諸国に関する諸資料を適切に活用している。 ④ヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義政治改革の動向に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				1848年革命		
				ヨーロッパの再編		
三 学 期	地球社会の到来	9	帝国主義と第一次世界大戦	帝国主義と世界分割	①欧米列強による勢力圏拡大の競争について、関心をもって学習しようとしている。 ②第一次世界大戦の原因や性格について、多角的に考察している。 ③教科書に掲載されている、アフリカや中国における列強の植民地や勢力圏を示す地図を活用し、現在に残る影響を把握している。 ④欧米列強による勢力圏拡大の競争に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				アジア諸国の改革と民族運動		
				第一次世界大戦		
		9	現代の世界	戦間期の世界	①戦間期の平和への取り組みが失敗した理由について、関心をもって学習しようとしている。 ②第二次世界大戦の複雑な性格を戦後の国際社会の方向性と関連付けて考察している。 ③教科書に掲載されている諸資料を適切に活用している。 ④第二次世界大戦における戦場の広域化、核兵器の使用といった戦争の惨禍に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業観察 ・小テスト ・ノート点検 ・定期試験
				第二次世界大戦		
				冷戦と第三世界の独立		
合計時数(50分授業)		70				